日本代表選手の行動規範

＜原則＞

1. 日本代表選手である以前に、社会の一員としての責任を持ち、常に礼儀を重んじ、品格のあるチアリーダーとして活動する。
2. 日本代表として周囲から見られていることを念頭におき、将来日本代表を目指す選手の手本となるよう行動する。
3. 各チーム単位ではなく、日本代表選手団全員で戦うことを意識する「Team JAPAN」の意識を持つ。

＜ルール遵守＞

4. 日本代表として活動する際は、日本スポーツチア＆ダンス連盟、大会主催者等が提示する規程やガイドライン、ルール、指示等を遵守する。
5. 現地では安全対策の原則に則り、予防に徹する。

＜規律ある行動＞

6. クラブチームや高校・大学チームなど自分の所属チームの一員である以前に、日本代表であるということを常に意識して行動する。
7. 挨拶・御礼などの基本的な礼儀を気持ちよく行い、丁寧な言葉遣い、清潔感のある身だしなみを心がける。
8. 常に協調性を重んじ、集団行動を乱す行為をしない。
9. 表彰式では、他国・地域の旗が掲揚される時を含めて、脱帽のうえ姿勢を正し、全ての選手へ敬意を払う。
10. 団体（チーム）または個人として SNS（Facebook・Twitter・Instagram など）へ大会についての投稿をする際は、不特定多数の方が見る可能性を考え、配慮・節度あるものとするなど注意する。
11. 日本代表チームとしての活動の場においては喫煙しない。日本代表チームとしての活動の場に限らず、20 歳未満の選手は絶対に喫煙しない。
12. 派遣大会期間中は飲酒しない。派遣大会期間中に限らず、20 歳未満の選手は絶対に飲酒しない。
13. 化粧等は指定場所またはしかるべき場所で行い、公共の場では行わない。

＜人間力向上＞

14. 対外的な活動やマスコミ対応をする場合は、競技結果に関わらず、自分の意見をきちんと話し、応援してくれた方々への感謝の言葉を忘れない。
15. 競技のインテグリティ（誠実性・健全性・高潔性）を確保し、行動する。社会通念上、問題となる行為や差別的な発言はしない。
16. アンチ・ドーピングの理念、必要性を十分に理解する。薬を服用する場合は、必ずドーピング検査の要件を確認する。また、アンチ・ドーピング活動に関する選手の権利と義務を確認しておく。

＜フェアプレー＞

17. 全力を尽してプレーすることに加え、フェアプレーの精神を理解し、あらゆる面でフェアな行動を心がける。勝利のときに慎みを忘れず、結果が芳しくない場合も、誇りある態度で受け入れる。

＜国際交流＞

18. 世界各国・地域の選手団や、大会開催地の人々との友好と親善を心がける。

＜公式服装着用＞

19. 日本代表選手は、その自覚と誇りを持って、公式服装をみだれなく、きちんと着用しなければならない。
20. 支給された公式服装を清潔に保つよう心掛けなければならず、第三者に譲渡することはできない。ただし、日本スポーツチア＆ダンス連盟の承認を得た場合はその限りではない。
21. 派遣大会期間中に限らず、公式服装を第三者に販売してはならない。

＜競技発展への寄与＞

22. 日本代表として、公の場での演技披露や奉仕活動の依頼等があれば積極的に行い、チアリーディングの発展に寄与する。
23. 日本代表として、国際チア連合の設立意義、当連盟の国内での役割を理解し、競技普及に尽力する。
24. スポンサー・サプライヤー等の支援者との関係構築に必要な活動に協力する。

※ 「日本代表選手の行動規範」は監督、コーチ等の関係者も理解し、模範行動を促進すること。
※ 「日本代表選手の行動規範」に著しく違反した場合、連盟の意志により日本代表としての資格を取り消される場合があることを理解すること。
※ 選手、監督、コーチ等の関係者は、日本スポーツチア＆ダンス連盟 倫理規範を必ず確認すること。

倫理規範